

## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月8日

上場会社名 コンドーテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 安藤 朋也

TEL 06-6582-8441

四半期報告書提出予定日 2018年11月9日

配当支払開始予定日

2018年11月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	27,963	9.0	1,878	12.8	1,938	13.2	1,308	14.8
2018年3月期第2四半期	25,653	5.0	1,665	1.4	1,711	0.1	1,139	1.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,280百万円 (0.8%) 2018年3月期第2四半期 1,290百万円 (11.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	48.90	48.75
2018年3月期第2四半期	42.53	42.38

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	40,319	25,703	63.6
2018年3月期	39,313	24,745	62.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 25,655百万円 2018年3月期 24,693百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		12.00		12.00	24.00
2019年3月期		13.00			
2019年3月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,316	4.7	3,733	5.5	3,833	4.9	2,626	4.1	98.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	27,257,000 株	2018年3月期	27,957,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	484,491 株	2018年3月期	1,192,591 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	26,768,898 株	2018年3月期2Q	26,800,654 株

(注) 株式付与ESOP信託が保有する当社株式(2019年3月期2Q: 56,900株、2018年3月期: 56,900株)及び株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2019年3月期2Q: 145,800株、2018年3月期: 145,800株)を期末自己株式数に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「4.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、記録的な猛暑や自然災害に見舞われましたが、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資は底堅く推移するとともに、設備投資は増加し、弱含んでいた住宅投資も概ね横ばいとなるなど受注環境は堅調に推移しておりますが、一部には材料の調達難や人手不足による物件の進捗遅れが解消されないなどの厳しい状況も存在しております。

このような状況のもとで、当社グループは自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、産業資材、鉄構資材、電設資材の各セグメントにおいて、商品調達機能の強化やユーザーニーズを的確にとらえた付加価値の高い製商品の開発・提供により事業拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,963百万円(前年同期比9.0%増)と増収になりました。

利益面につきましては、製造原価や仕入価格が上昇したものの販売価格への転嫁などにより、売上総利益率がほぼ横ばいとなったことに加え、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、営業利益は1,878百万円(同12.8%増)、経常利益は1,938百万円(同13.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,308百万円(同14.8%増)と増益になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <産業資材>

国内建設市場は、民間・公共工事ともに底堅く推移し、建築・土木関連商材であるコンテナバッグ、ブルーシート・土のう袋、現場用品などが底堅く推移し、当セグメントの売上高は15,632百万円(前年同期比7.1%増)となりました。利益面につきましては、競合他社との受注競争が依然として厳しい状況にあることに伴う売上総利益率の若干の低下や、運賃や人件費を中心とする販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、セグメント利益は984百万円(同5.3%増)となりました。

#### <鉄構資材>

インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の旺盛な需要を受け、鉄骨部材、ブレース、アンカーボルト、鋺螺などが好調に推移し、当セグメントの売上高は8,139百万円(前年同期比16.3%増)となりました。利益面につきましては、製造原価や仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が進み、売上総利益率が改善したことに加え、運賃や人件費を中心とする販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、セグメント利益は805百万円(同21.0%増)となりました。

#### <電設資材>

売電価格の低下に伴い太陽光発電設備関連の需要が減少したものの、全国的な猛暑の影響を受けエアコン販売が堅調に推移し、当セグメントの売上高は4,191百万円(前年同期比3.4%増)となりました。利益面につきましては、競合他社との受注競争が依然として厳しい状況の中、利幅を意識した営業活動の展開により売上総利益率が改善したことに加え、人件費の増加や前期に創業50周年記念キャンペーン関連費用が発生した反動減等により販売費及び一般管理費が微増にとどまった結果、セグメント利益は93百万円(同41.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(39,313百万円)と比較して1,006百万円増加し、40,319百万円となりました。これは、現金及び預金の増加並びに商品調達機能のさらなる強化に伴うたな卸資産の増加等を主因として、流動資産が1,124百万円増加した一方で、減価償却による有形固定資産の減少及び投資有価証券の時価の下落等を主因として、固定資産が118百万円減少したこと等によりです。

負債合計は、前連結会計年度末(14,567百万円)と比較して同等の14,616百万円となりました。これは、賞与引当金の増加等を主因として、流動負債が189百万円増加した一方で、退職給付に係る負債の減少等を主因として、固定負債が140百万円減少したこと等によりです。

純資産合計は、前連結会計年度末(24,745百万円)と比較して957百万円増加し、25,703百万円となりました。これは、剰余金の配当323百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,308百万円の計上による増加等があったことによりです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(62.8%)比、0.8ポイント改善し63.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末（9,893百万円）と比較して313百万円増加し、10,206百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、前年同期に獲得した資金（280百万円）と比較して485百万円増加し、766百万円の資金を獲得しました。

これは、売上債権の増加404百万円及びたな卸資産の増加310百万円、法人税等の支払い585百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上1,937百万円、減価償却費の計上190百万円等により資金を獲得したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、前年同期に使用した資金（197百万円）と比較して128百万円減少し、69百万円の資金を使用しました。

これは、有形固定資産の取得101百万円等により資金を使用したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、前年同期に使用した資金（399百万円）と比較して同等の394百万円の資金を使用しました。

これは、短期借入金の純減少額70百万円及び配当金の支払い323百万円等に資金を使用したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想におきましては、2018年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,893,136	10,206,500
受取手形及び売掛金	13,313,566	13,523,624
電子記録債権	1,218,400	1,431,752
商品及び製品	3,121,246	3,422,239
仕掛品	233,822	233,105
原材料及び貯蔵品	393,946	403,941
その他	431,697	505,151
貸倒引当金	△10,707	△6,598
流動資産合計	28,595,108	29,719,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,608,207	2,535,326
土地	6,138,100	6,111,800
その他（純額）	776,231	854,626
有形固定資産合計	9,522,539	9,501,753
無形固定資産		
その他	50,263	50,737
無形固定資産合計	50,263	50,737
投資その他の資産		
その他	1,162,181	1,058,743
貸倒引当金	△16,884	△11,386
投資その他の資産合計	1,145,296	1,047,356
固定資産合計	10,718,100	10,599,847
資産合計	39,313,208	40,319,565

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,285,287	3,148,876
電子記録債務	7,246,006	7,316,137
短期借入金	500,000	430,000
未払法人税等	642,092	691,548
賞与引当金	524,038	662,154
販売促進引当金	—	29,340
その他	920,711	1,030,032
流動負債合計	13,118,136	13,308,089
固定負債		
株式給付引当金	17,758	29,170
退職給付に係る負債	1,198,511	1,044,778
その他	232,969	234,395
固定負債合計	1,449,239	1,308,344
負債合計	14,567,376	14,616,433
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,485,413	2,434,555
利益剰余金	21,760,388	22,259,081
自己株式	△970,535	△428,021
株主資本合計	25,941,751	26,932,099
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,554	228,554
繰延ヘッジ損益	△16,555	17,717
土地再評価差額金	△1,510,852	△1,510,852
為替換算調整勘定	16,933	26,821
退職給付に係る調整累計額	△47,495	△38,732
その他の包括利益累計額合計	△1,248,414	△1,276,491
新株予約権	52,494	47,523
非支配株主持分	0	0
純資産合計	24,745,831	25,703,131
負債純資産合計	39,313,208	40,319,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	25,653,224	27,963,589
売上原価	20,110,223	21,892,936
売上総利益	5,543,001	6,070,652
販売費及び一般管理費	3,877,220	4,191,860
営業利益	1,665,781	1,878,791
営業外収益		
受取利息	224	944
受取配当金	1,566	1,782
仕入割引	71,830	70,786
雑収入	16,069	25,724
営業外収益合計	89,690	99,237
営業外費用		
売上割引	27,290	29,680
支払利息	500	426
雑損失	16,151	9,691
営業外費用合計	43,943	39,798
経常利益	1,711,529	1,938,230
特別利益		
固定資産売却益	518	1,798
特別利益合計	518	1,798
特別損失		
固定資産売却損	34	—
固定資産除却損	179	2,610
特別損失合計	214	2,610
税金等調整前四半期純利益	1,711,832	1,937,418
法人税、住民税及び事業税	551,434	630,538
法人税等調整額	20,452	△2,093
法人税等合計	571,886	628,444
四半期純利益	1,139,946	1,308,974
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,139,946	1,308,974

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,139,946	1,308,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	93,488	△81,000
繰延ヘッジ損益	27,362	34,272
為替換算調整勘定	11,960	9,887
退職給付に係る調整額	18,196	8,762
その他の包括利益合計	151,007	△28,077
四半期包括利益	1,290,953	1,280,897
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,290,953	1,280,897
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,711,832	1,937,418
減価償却費	205,935	190,957
株式報酬費用	4,906	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,286	△9,607
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50,521	138,026
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5,919	11,412
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△20,208	△141,125
受取利息及び受取配当金	△1,790	△2,726
支払利息	500	426
固定資産売却損益 (△は益)	△483	△1,798
固定資産除却損	179	2,610
売上債権の増減額 (△は増加)	△785,951	△404,428
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△271,094	△310,126
仕入債務の増減額 (△は減少)	△98,792	△67,193
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,353	19,661
その他	56,130	△13,498
小計	776,202	1,350,007
利息及び配当金の受取額	1,790	2,726
利息の支払額	△494	△423
法人税等の支払額	△496,529	△585,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	280,968	766,841
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△209,127	△101,081
その他	11,757	31,985
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,369	△69,096
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△70,000
自己株式の取得による支出	△155,566	—
自己株式の売却による収入	65,276	8
配当金の支払額	△308,302	△323,580
その他	△537	△537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△399,129	△394,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,951	9,729
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△303,578	313,364
現金及び現金同等物の期首残高	8,660,366	9,893,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,356,787	10,206,500

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年5月11日開催の取締役会決議に基づき、2018年6月1日付で、自己株式700,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が50,858千円、利益剰余金が485,450千円、自己株式が536,308千円それぞれ減少しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	14,602,099	6,998,001	4,053,123	25,653,224	—	25,653,224
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	98,776	52,534	50,542	201,853	△201,853	—
計	14,700,875	7,050,536	4,103,666	25,855,078	△201,853	25,653,224
セグメント利益又は損失(△)	935,128	665,866	66,068	1,667,063	△1,282	1,665,781

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,282千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注1)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	15,632,796	8,139,338	4,191,454	27,963,589	—	27,963,589
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	207,455	49,907	32,057	289,420	△289,420	—
計	15,840,252	8,189,246	4,223,511	28,253,010	△289,420	27,963,589
セグメント利益又は損失(△)	984,334	805,398	93,401	1,883,134	△4,342	1,878,791

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,342千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。